

【資料3-2】

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和2年4月17日（金）11時30分、14時30分
場 所	指揮室
出 席 者	知事、3副知事、担当者
内 容	緊急事態措置について協議し、本部会議に諮ることとした。
発 言 者 及び主な 発言内容	<ul style="list-style-type: none">・昨日、緊急事態措置が全都道府県に拡大されたことから、北海道の緊急事態措置を本日決定する。・内容は、国の対処方針で定められている措置を基本として実施。・それに加えて、札幌の感染状況を踏まえ、道独自の「イベント開催自粛の要請」や「北海道ソーシャル・ディスタンスの促進」を盛り込む。○事業者に対する休業要請に関して、先行7都府県の対応や協力金などの支援状況、休業要請の必要性や予算の規模感について、早急に整理が必要。・特措法の趣旨からは、外出自粛の効果を踏まえて、休業要請を行うこととなっている。・他県では感染状況を踏まえて、外出自粛と同じタイミングで休業要請を行うことを検討しているところもある。・休業要請は企業への影響が大きい。特措法の解釈では、営業補償は必要ないとされているが、道内企業のダメージが大きく、何らかの支援が必要。○休業要請を行う場合においても時間が必要。今回の本部会議において、休業要請について速やかな検討を指示することとする。・外出自粛の効果は、人通りの状況を見ることとし、携帯キャリアのデータが活用できると思われる。・最近の患者発生状況を踏まえ、札幌市内を中心に、宿泊療養を開始する。引き続き、病床確保に向けた準備を進めていかなければならない。 <p style="text-align: right;">以上</p>

※（知事○、その他・）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 4 月 19 日（日） 14 時 00 分
場 所	指揮室
出 席 者	知事、3 副知事、担当者
内 容	休業要請及び支援金の検討について協議した。
発 言 者 及び主な 発言内容	<ul style="list-style-type: none"> ・休業要請を行う場合の課題や内容については、東京都や埼玉県、千葉県などを参考としながら検討しているところ。 ・休業要請の対象範囲としては、特措法の政令で定められた施設に加えて、特措法によらない 1000 m²以下の大学や学習塾、集会・展示施設、商業施設を想定している。 ・具体的な施設は各県とも東京都の例をベースに検討されており、ある程度整合を図る必要がある。 ・深夜帯に勤務する方が利用する飲食店なども含め、営業時間を制限するよう要請した場合、道民生活や事業者に大きな影響を与える恐れがある。 ・食事提供施設については、19 時以降の夜間、酒類の提供を控えてもらうよう協力を要請する。 ・対象範囲にもよるが、支援金を一律 10 万円から 50 万円とした場合、予算規模としては約 35 億円から約 170 億円となる。 ○休業要請に伴う支援金については、補償ではなく要請への協力及び感染リスクを低減する自主的な取組を支援するものとして支給する必要がある。 ○売り上げ悪化に伴う資金繰りの支援については、新たに措置する無利子融資制度の活用はもとより、国の給付金や公庫等による融資など、国や道の経済対策をフル活用して行う必要がある。 ・相談対応を行うコールセンターが必要になる。休業要請を行う場合は、速やかに設置する必要がある。 <p style="text-align: right;">以上</p>

※（知事○、その他・）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和2年4月20日(月) 10時00分、17時20分
場 所	知事応接室
出席者	知事、3副知事、担当者
内 容	休業要請及び支援金について協議し、本部会議に諮ることとした。
発言者 及び主な 発言内容	<ul style="list-style-type: none"> ・休業要請は、道民の行動変容の状況を見て、丁寧に検討する必要があると考えていたが、週末の人出の状況を見ると、首都圏などに比べて人出の減少率が低い状況。 ○感染拡大をできるだけ早く防止するため、可能な限り早く、休業に取り組んでいただくことが必要であり、本日から休業要請をスタートする。 ・支援金額は、他県の状況や道の財政状況、対象事業者の事業規模を勘案し、法人には30万円、個人事業者には20万円、酒類の提供を自粛する飲食店には個人・法人を問わず10万円としたい。 ○支援金の制度設計の詳細を詰めるように。議会にはしっかりと説明し、その議決を経てから実施する。 ・支援金は休業への準備期間も考慮しなければならない。休業は本日から行うとしても、支援金の対象を約1週間後(4/25(土))までに休業を開始した方を対象としたい。GW明けの5/6(水)まで休業を継続していただくことを原則とし、この間に感染症対策を行っていただくことを要件としたい。また、仮に延長した場合も想定して、制度設計を行う。 ・市町村が道の制度への上乗せ補助を希望する場合は、手続き面での調整などについても検討する。 ・コールセンターは道職員が対応することとし、明日から開設。 ・ネット難民対策として、ホテルを借り上げる「一時生活支援事業」を実施するなど、休業対象事業者のみならず休業の影響を受ける方々への支援も併せて行う。 <p style="text-align: right;">以上</p>

※(知事○、その他・)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 4 月 29 日 (水) 14 時 00 分
場 所	知事応接室
出 席 者	知事、3 副知事、担当者
内 容	ゴールデンウィークに向けたメッセージの発出について協議した。
発 言 者 及び主な 発言内容	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌の感染が増えている。GW 前に、具体的な注意喚起が必要だと考えている。 ○不要不急の札幌との往来の自粛や県をまたいでの往来の自粛について、GW 前に、札幌市、市長会、町村会と一緒にオール北海道でメッセージを出す方向で調整して欲しい。 ○これまでの GW の往来のままでは感染が拡大し、医療が大変なことになるため、札幌にいて欲しいとのメッセージを出すべき。 <p style="text-align: right;">以上</p>

※ (知事○、その他・)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和2年5月4日（月）15時00分
場 所	知事会議室
出席者	知事、3副知事、担当者
内 容	緊急事態宣言の延長に伴う緊急事態措置の延長などについて協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本日、国において対処方針が決定され、5/6までとした緊急事態宣言の期間を、引き続き全都道府県を対象に5/31まで延長見込み。 ・全国的には新規感染者は減少傾向にあるが、札幌において、感染者数が連日20名を超え、医療現場の逼迫が続き、非常に厳しい状況となっている。 ・そうした中、札幌市以外の地域において、外出自粛や往来自粛を緩和すると、全道に感染が広がる恐れも高く、予断を許さない状況。 <p>○先行して緊急事態宣言が出された東京都など7都府県では、4/7から徹底した封じ込め対策が行われてきたが、北海道は9日間遅れて指定されたことから、これまでの取組の効果が十分に発現していない可能性もあり、7都府県と同等の取組期間を取る必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道においては、緊急事態措置を5月31日まで延長することを基本としつつ、その内容については、まずは5月15日までの9日間は、これまでと同様の措置を講ずることとしたい。 ・休業要請の支援についても、再延長の如何にかかわらず、5月15日の休業要請に協力いただいた事業者を対象としたい。 <p style="text-align: right;">以上</p>

※（知事〇、その他・）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和2年5月7日（木）13時30分
場 所	知事会議室
出席者	知事、3副知事、担当者
内 容	GW明けの道民向けメッセージなどについて協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<p>○札幌を中心に感染が続いており、GWに出したようなメッセージを明日の会見で行う。</p> <p>○休業判断、学校再開について、各県が言い始めている。再開して欲しいという意見が多いのではないかと。国の専門家会議は5/14の予定とされているが、情報収集をしっかりとやって欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休業要請の緩和等に当たっては、感染状況や医療提供体制の指標から判断していく必要があると考えている。 <p style="text-align: right;">以上</p>

※（知事〇、その他・）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和2年5月12日(火) 17時30分
場 所	知事会議室
出席者	知事、3副知事、担当者
内 容	<p>次の事項について協議した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的対処方針の道の考え方(出口戦略)について ・ 感染予防だけではなく道民運動、北海道スタイルについて ・ 再要請に当たっての基準について
発言者 及び主な 発言内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5/14に引き続き、道が緊急事態宣言の対象となるかはまだ不透明。 ○15日までの休業要請について、経済状況も厳しくなっており、その後の取扱いは、できるだけ早く検討し、その対策を実施する必要がある。 ・ 今後の緊急事態措置のあり方については、法の建て付けは、外出自粛は都道府県単位であるが、感染状況が全道一律ではない状況や北海道の地域特性などを踏まえ、振興局ごとに様々な考えを整理する必要がある。 ・ 振興局ごとに対応を変えることが適切かどうか異論もある。 ・ 休業要請を緩和するとしても、①特定警戒都道府県であること、②札幌と他の圏域との往来が多いという北海道の特性を踏まえると、知事が緩和や解除について判断できる施設に限定すべき。 ・ 今後の動向は不透明であるが、休業要請を延長した場合には、新たな支援金が必要。新たな支援金を10万円とすると、東京を除く首都圏と同水準。休業要請の対象外企業も自主的な休業や大幅な売上げ減少に直面しており、新たな支援金ではこうした企業も支援することとし、全道8万社を対象としたい。 ・ また、新たな支援金については、休業要請の協力的な位置づけに加え、感染防止等に取り組んでいただくことを支給要件としたい。 ○休業中の学校についても、分散登校の拡大など、段階的な再開に向けた取組について道教委に求めていく必要がある。 ○取組を体系化する。何を指して何をやるか見える化する必要がある。緊急フェーズから新しい生活様式や教育など、感染予防だけではなく道民運動として体系的に取組を展開する。 ○大阪は追跡アプリを先行し、新しいビジネスにつなげようとしている。目指すべきところを明らかにして、知恵を集めてコロナとの共存の形を伝える。企業や市町村をつないでいく。業態によっては1年以上仕事を再開できないことも想定される。新たな発想が必要。5/31までにできることは限られているので、かけ声をかける。北海道としてのスタイルを考える。

	<p>○緊急事態宣言が継続された場合は、道の緊急事態措置をすぐに見直しを行い、可能な限り速やかに執行すべき。</p> <p>○5 月末までに目指すべき姿を明らかにして、道民と認識を共有した上で、対策を進めていく必要がある。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	--

※（知事〇、その他・）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和2年5月13日(水) 10時00分
場 所	知事会議室
出席者	知事、3副知事、担当者
内 容	<p>次の事項について協議した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月末までに目指す姿について ・今後の基本的考え方(休業要請、新たな支援金、新北海道スタイル)について
発言者 及び主な 発言内容	<p>○明日14日に、国においてどの都道府県で緊急事態宣言が解除されるか決定される。北海道が継続されるかは未確定であるが、仮に延長された場合は、企業等の準備が必要であることから、特定警戒都道府県の指定が継続することを前提に、本日の記者会見で発表することとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的には新規感染者は減少傾向に転じており、北海道においても、感染状況は一時より改善しているが、依然として厳しい状況にある。 <p>○第3波、第4波が起こりうるという前提で備えていくことが必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者発生状況、リンクなしの状況、入院患者数すべて、全道の9割以上が石狩振興局管内に集中している。 <p>○休業要請は、振興局毎に対応を変えていくことが必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模施設の場合には、広域的な人の流れも懸念されることから、石狩以外の振興局は、法に基づかない「協力依頼」施設を要請対象施設から外すこととする。 ・更なる休業要請に係る支援金は、感染拡大防止のための「新しい生活様式」の実践・普及に取り組む事業者を対象とすることとし、①休業要請に協力いただける事業者に10万円、②売上げが大幅に落ち込んでいる事業者に5万円とする方向とし、詳細を詰めていく。支援金総額は約50億円。 ・5月末までのめざす姿として、これまでの感染状況等を踏まえて、全道で、1日の新規感染者が10人以下、リンクなし患者数が3人以下、入院患者数をまずは250名以下としたい。 <p>○病床の確保が最も重要であり、病床の基準については、安定した医療や入院患者数を考えると、少し高い目標を設けてもよい。</p> <p>○今後は、休業要請から「新しい生活様式」への転換を図っていかなければならない。「コロナと暮らしていく「新北海道スタイル」をつくる」と呼びかける。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

※(知事〇、その他・)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和2年5月15日(金)9時30分
場 所	知事会議室
出席者	知事、3副知事、担当者
内 容	緊急事態宣言の解除と緊急事態措置の見直しについて協議し、本部会議に諮ることとした。
発言者及び主な発言内容	<ul style="list-style-type: none"> ・昨日14日、国の対策本部で北海道は引き続き特定警戒都道府県に決定された。 ○今後、感染を押さえ込むためには、今が正念場。 ○事業者の皆様新たな支援金を速やかに支給するなど、道民の皆様、事業者の皆様の不安や困りごとに寄り添ったサポートを行って欲しい。 ・外出自粛については、札幌市に加え、市長会、町村会にも協力いただき、改めて連名による緊急メッセージを発出することとしたい。 ○感染拡大防止の取組内容を可視化するなど、業種別などのガイドラインを参考にした具体的な取組が広がるような取組を道民運動として進めていかなければならない。 ・まずは、業態別のガイドラインの周知が必要。道のHPと内閣府のHPのリンクを張って、すぐに参照できるようにする。 ・直近1週間の国の10万人当たりの患者数が0.5人や1人以上が指標となっていることから、今後、北海道の状況を国がどのように判断するか、また、いつ解除になるか不透明。 ○5/31を待たず解除された場合には、事前の周知も必要であり、いつ解除されてもいいように準備を進めて欲しい。 ○来週中にGW中の感染結果が見えてくることから、今後は、新規感染者の状況の確認が重要となる。 <p style="text-align: right;">以上</p>

※(知事〇、その他・)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和2年5月20日(水) 14時00分
場 所	知事会議室
出席者	知事、3副知事、担当者
内 容	<p>次の議題について協議した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言解除時の対応について ・飲食店の営業自粛の対応について ・第3波に備えた外出自粛等について
発言者及び主な発言内容	<p>○明日の政府の対策本部で、北海道は引き続き対象となる可能性が高いため、今後の解除も見据えて、段階的な対応が必要となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このままの状態解除された場合には、相当の混乱が予想される。 ・新規感染者がここ数日、一桁台で推移し、商業施設や遊戯施設などの業界団体において、感染拡大防止に向けたガイドライン作成の動きがあることを踏まえ、休業要請の対象施設の見直しを検討したい。 ・石狩については引き続き予断を許さない状況。見えない感染が広がっているということも踏まえると、石狩管内を大幅に解除した場合には再度、感染拡大の懸念も払拭できない。石狩と石狩以外で解除レベルを分けることが必要。 <p>○全面的な休業要請をずっと続けていくことは限界があるが、一方で、感染の流行は再びやってくるという可能性は正直高いと見ている。そのためにも、感染拡大の防止と社会経済活動の両立という難しい課題に挑戦していかなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は、新北海道スタイルを徹底していくことが重要であり、その準備を行うという観点も含めて、新北海道スタイルを実践する準備ができたところから営業するという考え方を基本としたい。 ・当面の「新北海道スタイル」の実践と普及啓発に向けて、次のような取組を展開する。 <ul style="list-style-type: none"> →「新北海道スタイル」キックオフミーティングの開催 →「新北海道スタイル」PR動画 →事業者向け「新北海道スタイル安心宣言」への協力呼びかけ <p style="text-align: right;">以上</p>

※(知事○、その他・)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和2年5月21日(木) 11時00分、14時00分
場 所	知事会議室
出席者	知事、3副知事、担当者
内 容	<p>次の議題について協議した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休業要請措置の緩和について ・今後の休業要請の解除について
発言者及び主な発言内容	<ul style="list-style-type: none"> ・10万人当たり0.5人以下の基準は明日下回る可能性ある。入院患者数もクリアする可能性ある。 ○仮に明日クリアしたら、25日(月)から新北海道スタイルの準備ができたところから、さらなる休業要請の緩和を行うこととしたい。全面解除に向けて慣れていただくことが必要。 ・国の対処方針を踏まえると、4業種＋クラスター発生業態は25日(月)から解除できないものと考えられる。 ・石狩は「対処方針で緩和が例示される施設」、他は「大型商業施設等」まで解除、アルコール提供の時間も解除するという考え方としたい。 ・不要不急の外出、札幌市との往来控えるというメッセージは当面継続することとしたい。 ○入院患者数250人以下が継続していることが重要であり、少なくとも明日の状況を見る。 ○見えない感染が続いている。慎重に山を下らないと再び厳しい局面に立たされるかもしれない。北海道が一番長期間戦っている、唯一第2波を経験しているのは道民。 <p style="text-align: right;">以上</p>

※(知事○、その他・)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和2年5月22日（金）10時00分、14時00分
場 所	知事会議室
出席者	知事、3副知事、担当者
内 容	<p>次の議題について協議し、本部会議に諮ることとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休業要請措置の緩和について ・新北海道スタイルについて
発言者 及び主な 発言内容	<ul style="list-style-type: none"> ・昨日21日、政府対策本部において、北海道は引き続き特定警戒都道府県とされた。他方、同日の総理会見では、今の状況が継続されれば、5/25にも北海道の解除も可能となるのではないかとの発言もあった。 ・5/13の記者会見で示した「5月末までに目指す姿」とした3つの指標は、すべて達成している状況。石狩振興局管内も、新規感染者数とリンク不明は目標を達成し、入院者数の目安についても200名と達成している。 ・準備期間ができないまま、いきなり解除すると、再びは感染拡大の恐れもあるので、段階的解除とする。 ・外出自粛の要請は続ける一方、総理発言とも偶然重なるが、5/25(月)から、「新北海道スタイル」の準備が整ったところから、段階的に一部解除を進めることとしたい。 <p>○休業要請など強い措置を続けることは社会経済活動に悪影響を与える。長期間続けることには限界がある。</p> <p>○足下で感染が生じていることについては、解除によって緩むことを抑制するための例示として示せば良い。新たな感染者が増加する可能性は伝える必要がある。</p> <p>○慎重の上にも慎重に「新北海道スタイル」の準備を進めることが重要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休業要請をいつまでも続けるのは困難であるが、尾身先生が言っているように、全国的に見えない感染が広がっている状況。今後は、①外出は自粛する、②新北海道スタイルができていないところは営業しない、という手法が基本となるものと考えられる。 <p style="text-align: right;">以上</p>

※（知事〇、その他・）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和2年5月25日（月）11時30分、15時00分
場 所	知事会議室
出席者	知事、3副知事、担当者
内 容	<p>次の議題について協議し、本部会議に諮ることとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言の解除方針について ・外出自粛と休業要請について
発言者 及び主な 発言内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本日、北海道については、国の緊急事態宣言が解除される見込み。 ・一方で、昨日、2桁の感染者が発生したこともあり、国から、十分注意してモニターし、当面1週間は報告することを求められている。 ○緊急事態宣言が解除されてもウイルスがゼロになるわけでない。「見えない感染」の拡がりを念頭に嚴重な警戒が必要。 ○リンク無し感染者は引き続き一定数見られ、石狩管内は増加するなど、予断を許さない状況が継続。慎重な行動が必要。 ・国の宣言解除が一定の留保がついているという状態を踏まえ、31日までは外出自粛、休業要請、札幌との往来自粛は続けなければならない。 ○6/1以降の考え方については早急に検討すること。 ○6月以降の独自休業要請は様々な影響等を考慮すると難しい面がある。 ○今後の警戒レベルの基準を可視化する必要がある。 <p style="text-align: right;">以上</p>

※（知事〇、その他・）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 5 月 28 日 (木) 14 時 00 分
場 所	知事会議室
出 席 者	知事、3 副知事、担当者
内 容	休業要請の解除や警戒ステージの考え方について協議した。
発 言 者 及び主な 発言内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6/1 以降の対応については、外出自粛や休業要請、イベント等の開催制限などについては国の通知も踏まえ、段階的な緩和としたい。 ・ 休業要請については、「北海道スタイル」の実践など感染防止対策を十分に行ってもらうことを前提に、6/1 以降、準備が整った施設から、休業要請を解除する。 ○ 今後は振興局ごとに注意喚起を行うことが重要。 ・ 一日 2 人のリンクなしの患者発生を基本とし、早期に感染拡大の抑え込みを行うこととしたい。 ・ 振興局と市町村との連携を強化し、地域の感染状況に即応した効果的な呼びかけとなるよう検討していく。 ○ アラート指標は、新規感染者数の状況やリンクなしの感染者の割合といった指標に加え、医療提供体制等も考慮し、総合的に判断することとしたい。 ○ コロナ通知システムは、どういう範囲でどういう人に通知が届くのかという点を整理すべき。 ・ 明日から道の施設で試行。パチンコ店等で導入が進められればと考えている。 <p style="text-align: right;">以上</p>

※ (知事○、その他・)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和2年5月29日（金）13時45分
場 所	知事会議室
出席者	知事、3副知事、担当者
内 容	新型コロナウイルス感染症対策に関する基本方針について協議し、本部会議に諮ることとした。
発言者 及び主な 発言内容	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の感染状況を踏まえ、他都府県との不要不急の往来、札幌との不要不急の往来については、6/18までの間は、慎重な対応をお願いします。 ・国が特に感染リスクが高い施設としており、業界ガイドラインが現時点で策定されていない業種である、接待を伴う飲食店及びライブハウス等の利用は、特に慎重な対応をお願いします。 ・コロナ通知システムを今日昼から道立博物館等で運用、札幌は6/1から公共施設、クラスター発生可能性のある施設で導入。 <p>○休業要請の解除に当たり、伝えたいことは「慎重に」。新北海道スタイルを実践されているかどうかは鍵となる。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

※（知事〇、その他・）